給 与 支 払 報 告 特 別 徴 収 に係る給与所得者異動届出書

記入上のご注意

4 3 2 1 一枠給「黒 月内与整の 一にの理ボ 日「支番 か1払号ル ら」をラペ 月記け欄又 三入なには 十すくはペ 日るな、ン まとつ特で でとた別記 のも者徴載 間にが収しに、税で 退っ新額く 職1し通だ し特い知さ た別勤書い 者徴務に に収先記 未継に載 徴続おさ 収のいれ 税場てた 観か 関連 番目 を るに収号 場必のを 合要継記 に事続載 は項をし 、を希て 一記望く 括載すだ 徴しるさ 収て場い すく合。 るだに こさは、 とい。「 が義務づい けの ら未 れ徴 て収税 ます。 徴 収 方法」

欄の

			12						年 度	1. ₹	見年度	2. 新年度	3. 両年	度
◎ 昇	異動があった場合	は、すみや	かに提出して							特別徴収	美数老			
				在地						指 定	番号			
	いすみ市長	殿	給 特義	- 11 13 1						整 理				
			支別務	フリガナ						1担 連 -	所 属			
ŕ	合和 年 月	日提出	払収者 氏名	又は名称						当絡	氏 名			
				人番号					記載に当たっては、	者先	電 話		fula /	,
			又は	法人番号				左端を空欄	とし右詰めで記載			内	線()
	フリガナ													
	氏 名			(ア)	(イ)		(ウ)	異 動	H 4	el o	* *	異 動 後	の未徴収	
給	生年月日	年	月 日	特別徴収税額	徴収済	額	未徴収税額	年月日	異重	動の	争 田	税額の	徴収方法	
与	個人番号			- (年税額)			(ア) - (イ)							
所					ļ				<u> </u>	退職		 		
	受給者番号				月	から	月から	年	2 .	転勤 休職・長	<u> </u>	1. 4	寺別 徴 収 総	搖続
得	1月1日				月	まで	月まで		右から 4.	死亡		右から 2	- 括 徴	収
者	現在の住所							月		支払少額 合併・角		番号を 2. 記入	111 124	10
	異動後の									. その他 ^{由・理由}		3. 🕆		
	住 所			円		円	円	Ц					本人納付)	'
									,			/		
1	佐団海田継続の1											/		
1.	特別徴収継続の場 特別徴収義務者	易合		(本相)	沙 1 巫					新しい	勤務先へに	,]を
	特別徴収義務者 指 定 番 号			(新規)	法人番	号] <i>を</i>
新料	特別徴収義務者 指 定 番 号	易合		(新規)	法人番		所					、月割額 引10日納入期限]を
新しい新りの	特別徴収義務者指定番号			新規)	法人番	担当	属				月分(翌月		分) から] <i>を</i>
新しい勤	特別徵収義務者 指 定 番 号 明 所 在 地			新規)	法人番	担当者	氏			徴収し	月分(翌月、納入する	目10日納入期限	分) から]を
新しい勤務	特別徴収義務者 指 定 番 号 明 所 在 地 フリガナ			(新規)	法人番	担当者連	属 氏 名				月分(翌月、納入する	目10日納入期限	分) から]を
新しい勤	特別徴収義務者 指 定 番 号 明 所 在 地 フリガナ			新規)	法人番	担当者	氏 名			徴収し 受給者	月分(翌月、納入する番号 要否	310日納入期限が3よう連絡済みで	分) から	
新しい勤務	特別徴収義務者 指定番号 サリッ 所在地 フリガナ			新規)	法人番	担当者連絡	属 氏 名	内線(徴収し受給者	月分(翌月、納入する番号 要否	310日納入期限が3よう連絡済みで	分) から です。	
新しい勤務	特別徴収義務者 指 定 番 号 所 在 地 フリガナ 氏名又は名称	Ŧ	別徴収継続以タ	新規)		担当者連絡	氏 名	内線(徴収し 受給者	月分(翌月 、納入する 番号)要否 _{み記載)}	310日納入期限 3よう連絡済み 3 5よう連絡済み ^{右から} ^{番号を} 1. 東	分)から です。 必要 2. 不	
新しい勤務先 2	特別徴収義務者 指 定 番 号 所 在 地 フリガナ 氏名又は名称	Ŧ	別徴収継続以夕			担当者連絡先	氏 名	19) 数収予定額	徴収し受給者 納入書の(新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号)要否 _{み記載)}	10日納入期限 3よう連絡済み 5 5 5 5 6 6 6 7 1. 4	分)から です。 必要 2. 不	
新しい勤務先	特別徴収義務者 指 定 番 号 所 在 地 フリガナ 氏名又は名称	(1月以降、特)ます。)	担当者連絡先	馬 氏 名 電 話	19)	徴収し受給者 納入書の(新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号)要否 かみ記載)	310日納入期限 3よう連絡済み 3 5よう連絡済み ^{右から} ^{番号を} 1. 東	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要
新しい勤務先 2	特別徴収義務者号 特別徴収義務者号 所 在 地 フリガナ 氏名又は名称 一括徴収の場合	(1月以降、特 令和 年12月3	11日までで、一括	トは一括徴収となり)ます。)	担当者連絡先	展 氏 名 電 話 徴収予定月日	(上記) 数収予定額	徴収し 受給者: 納入書の (新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号 D要否 かみ記載) 左記の一	10日納入期限 5よう連絡済み 5よう連絡済み 1. 東 新号を 記入 括徴収した税都 分(翌月10日解	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要
新しい勤務先 2 理	特別徴収義務者 指 定 番 号 所 在 地 フリガナ 氏名又は名称 一括徴収の場合	(1月以降、特 令和 年12月3	11日までで、一括	トは一括徴収となり で で で で で で で で で で で で で)ます。)	担当者連絡先	馬 氏 名 電 話	(上記) 数収予定額	徴収し受給者 納入書の(新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号)要否 かみ記載)	10日納入期限 5よう連絡済み 5よう連絡済み 1. 東 新号を 記入 括徴収した税都 分(翌月10日解	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要
新しい勤務先 2 理 由 (程別徴収募発表)	特別徴収義務者 号	(1月以降、特 令和 年12月3	11日までで、一括	トは一括徴収となり で で で で で で で で で で で で で)ます。)	担当者連絡先	展 氏 名 電 話 徴収予定月日	(上記) 数収予定額 (ウ)と同額	徴収し 受給者: 納入書の (新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号 D要否 かみ記載) 左記の一	10日納入期限 5よう連絡済み 5よう連絡済み 1. 東 新号を 記入 括徴収した税都 分(翌月10日解	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要
新しい勤務先 2 理 由 3	特別徴収義務者 指 定 番 号 所 在 地 フリガナ 氏名又は名称 一括徴収の場合 1. 異動が 番号を記入 普通徴収の場合	(1月以降、特 令和 年12月3 令和 年1月	1日までで、一括 1日以降で、特別	トは一括徴収となり で で で で で で で で で で で で で)ます。) こため ぶないため	担当者連絡先	展 氏 名 電 話 徴収予定月日	(上記) 数収予定額 (ウ)と同額 ・ 市 区	徴収し 受給者: 納入書の (新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号 D要否 かみ記載) 左記の一	10日納入期限 5よう連絡済み 5よう連絡済み 1. 東 新号を 記入 括徴収した税都 分(翌月10日解	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要
新しい勤務先 2 理 由 (程別徴収募発表)	特別徴収義務者 指定番号 所在地 フリガナ 氏名又は名称 一括徴収の場合 1.異動が 音号を 記入 普通徴収の場合	(1月以降、特 令和 年12月3 令和 年1月 令和 年1月	1日までで、一括 1日以降で、特別 1日までで、一括	は一括徴収となり 徴収の申出があった 徴収の継続の申出が 徴収の単出がないた)ます。) こため がないため	担当者連絡先	展 氏名電話 徴収予定月日	(上記) 数収予定額 (ウ)と同額 ・ 市 に 町	徴収し 受給者: 納入書の (新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号 D要否 かみ記載) 左記の一	10日納入期限 5よう連絡済み 5よう連絡済み 1. 東 新号を 記入 括徴収した税都 分(翌月10日解	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要
新しい勤務先 2 理 由 3 理	特別徴収義務者 指定番号 所在地 フリガナ 氏名又は名称 一括徴収の場合 1.異動が 音号を 記入 普通徴収の場合	(1月以降、特 令和 年12月3 令和 年1月 令和 年1月	1日までで、一括 1日以降で、特別 1日までで、一括	トは一括徴収となり 後収の申出があった 1徴収の継続の申出が)ます。) こため がないため	担当者連絡先	展 氏名電話 徴収予定月日	(上記) 数収予定額 (ウ)と同額 	徴収し 受給者: 納入書の (新規の場合の	月分(翌月 、納入する 番号 D要否 かみ記載) 左記の一	10日納入期限 5よう連絡済み 5よう連絡済み 1. 東 新号を 記入 括徴収した税都 分(翌月10日解	分)から です。 必要 2. 不 類は、	要